

DFR

DIESEL **F**ISHING **R**EVOLUTION

DFR SERIES CATALOG

DFR-36 DFR-36EX DFR-36FB DFR-33 DFR-29

Diesel Fishing Revolution

生き甲斐と成り得る存在。



DFR
DIESEL FISHING REVOLUTION
DFR SERIES Line-up



DFR-36



DF



DFR-33



DFR-29

写真にはオプションおよび撮影のための小道具が含まれています。

DFR-36/EX/FB TECHNOLOGIES

PART-I 革新のスーパースローリモコン&先進のディーゼルエンジン



SUPER SLOW
SUPER SLOW REMOCON

流し釣りの革新的ファンクション、スーパースローリモコン (DFR-36EXに標準装備。DFR-36・DFR-36FBは工場オプション)

風や波や潮など、さまざまな変化がある海の上で釣りをしながらスロットル&シフト操作を行いポイントをキープする流し釣り。そのためには、頻繁かつ微妙なシフト操作によって、ポイントからボートが大きく離れないように調整する必要があります。

本来なら熟練を要するこの操作を、アイドリングスピードから対水速力ゼロまでの微速全域において、一本のリモコンレバーでコントロールできるのが「スーパースローリモコン」です。

クラッチをスリップさせてプロペラ回転数をアイドリング以下で調整する「ボルボ・電子ローリングシステム」と、シフトのオン・オフをタイマーで管理するFSR(フィッシングサポートリモコン)を融合させた革新的システムです。

これまでのクラッチのスリップ量を調整する微速装置では、超微風下においてシフト操作が必要でした。一方、シフトのオン・オフをタイマーで自動化し、煩わしいリモコン操作から解放され、一人でも流し釣りに専念できるシステムがFSRです。

新開発のスーパースローリモコンは、微速装置とFSRシステムの融合により、これまで対応できなかった超微風にも簡単な操作で対応できるようになりました。

操作方法は、アイドリングスピードからクラッチスリップ率70%までの低速域では、シフトを前進(もしくは後進)に入れた後、スーパースロー用レバーを引き上げることによって、「ボルボ・電子ローリングシステム」により速度の調整を行います。それ以下の超低速域の場合は、さらにレバーを手前に倒すだけでFSRが作動。シフトのオン・オフをタイマーで管理することによって、超低速域でのコントロールを実現しました。

また、クラッチスリップ率70%の状態でもFSRシステムが作動するため、高出力エンジンにもかかわらずシフトのオンとオフを繰り返し、シフトショックを最小限に抑制しています。

アングラーはさらに釣りやすく、キャプテンも釣りに専念できるため、流し釣りにおける戦闘力を一段と高めています。



スーパースローリモコンのメリット

- 走行時から電子ローリング/FSRへの切替スイッチがなくレバー一本で操作が可能
- シフト&スロットル操作から解放され、キャプテンも釣りに集中できる
- アイドリングスピード〜対水速力ゼロまでの超低速域のコントロールを実現
- 高出力エンジンでありながら、シフトショックを抑制
- 前進低速調整に加え、後進低速調整も可能
- スロットル誤操作(1,000rpm超え)時のエンジントラブル予防機構を装備

優れた乗り心地と風流れ抑制性能

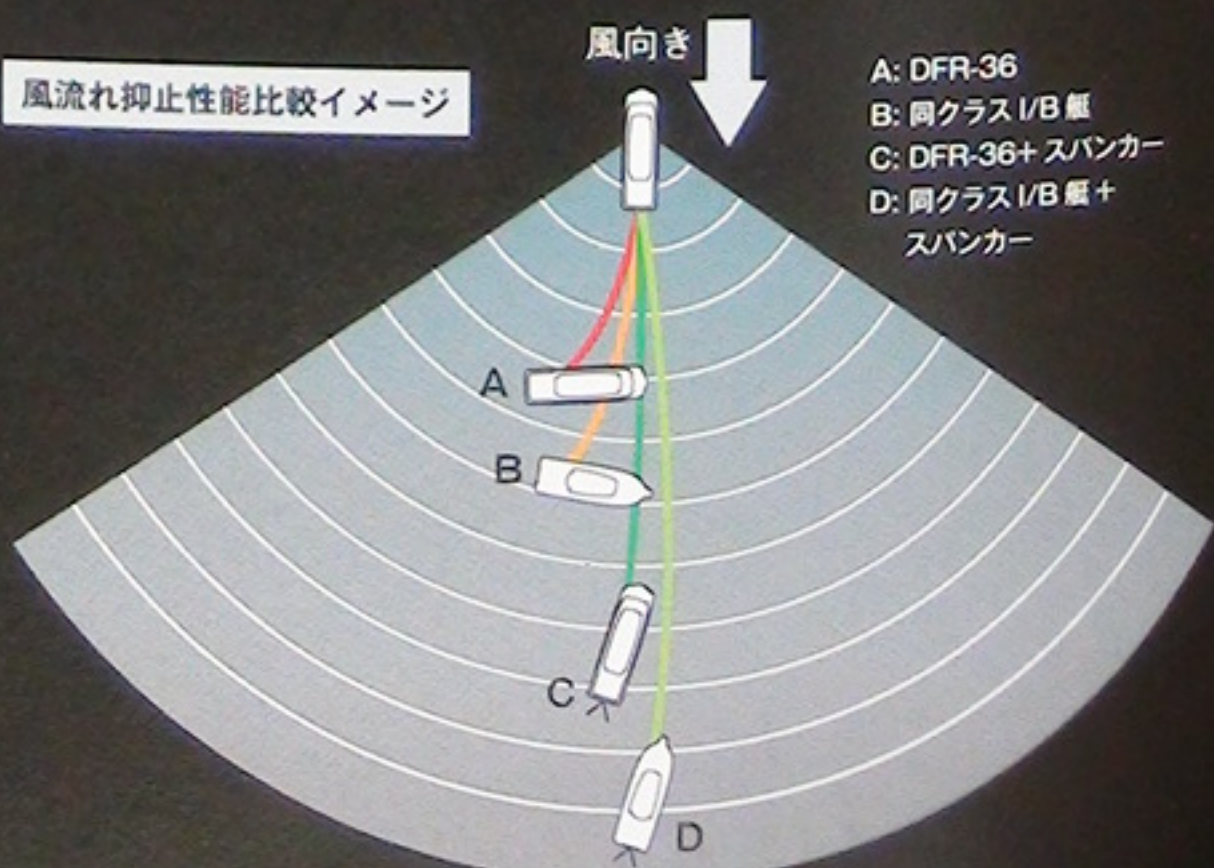
DFR-36は、W.T.B.(ウェーブ・スラスタ・ブレード)により、波あたりのショックをやわらげ、優れた乗り心地と凌波性を実現。さらに、チェーン幅を拡大させたことで、良好な乗り心地とともに、優れた横安定性を発揮するなど、長時間の釣行でも疲れにくく、釣りに専念することができます。また、W.T.B.は、クラストップレベルの風流れ抑制性能と保針性を発揮。この優れた風流れ特性は、スーパースローリモコンとスパンカーを組み合わせることによって、ボートの位置補正を容易にし、本格的な流し釣りを簡単に楽しむことができます。

優れた風流れ抑止性能とは

- 流される距離が少ない
- 船首が風下を向きにくい

DFR-36(イラスト:A)はこれまでのプレジャーボートタイプ・インポート艇(イラスト:B)より風に流されにくく、ボートの向きやポイントの補正が容易です。加えて、スパンカーを使用した流し釣り(イラスト:C)では、ほぼ船首を振られることなく、スロットルの調整だけでポイントに長く留まることが可能となります。

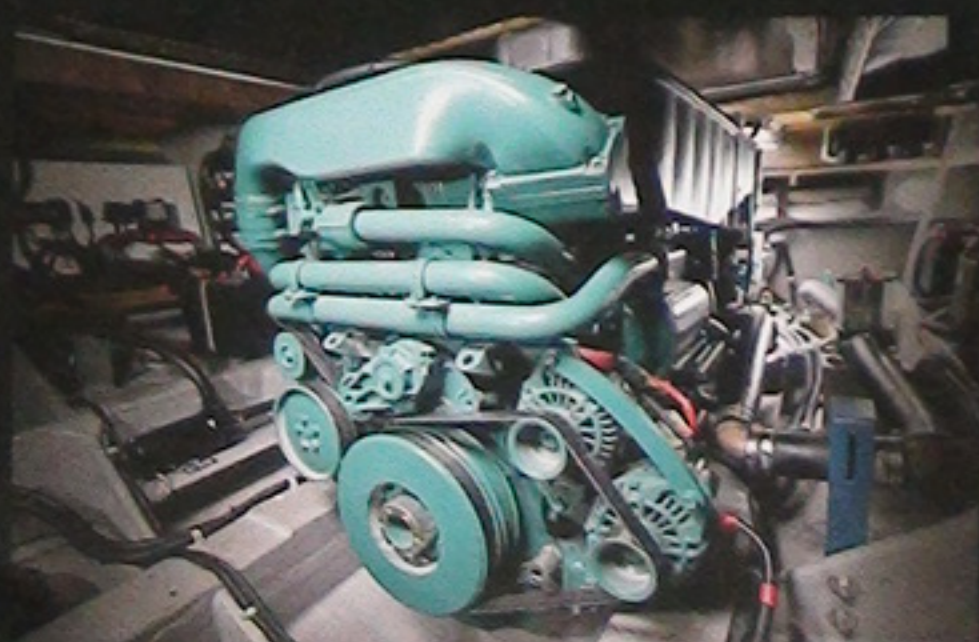
※データはあくまでも当社における定められた試験条件下での実験値です。気象・海象・艇体の構造・船底の状態・乗組人数・運転・整備などの諸条件により異なります。





大容量電源システム搭載

DFR-36では、オルタネーター(主機付属発電機)をダブルで搭載。これにより最大2.6kW(エンジン回転1,300rpm以上)の充電能力を発揮します。各バッテリーへと適切に充電され、12V家電やデッキ周りの照明などへ、安定した電力を供給します。また、アイドリング回転でも1.5kWの充電能力を持つため、アイドリング回転域での、マリンエアコンシステム(BE-COOL)の連続運転が可能です。



エンジンルーム内



先進のディーゼルエンジン

パワーユニットには、直列6気筒D9-500を搭載。ハイパワーと低燃費を両立し、釣行スケールを拡大します。強固なエンジンブロックにラダーフレーム、ハイプレッシャーユニットインjekター、4バルブシリンダー、アフタークーラーを装備。大排気量とエンジンコントロールシステムにより、エンジン回転をスムーズにするとともに、排気ガスや不快な匂いを低減するなど、ワールドクラスのパフォーマンスを発揮します。



VOLVO D9-500

DFR-36/EX/FB TECHNOLOGIES

PART-II 最新艇体と先進システムの融合



期待を超える走行性能の実現に向け

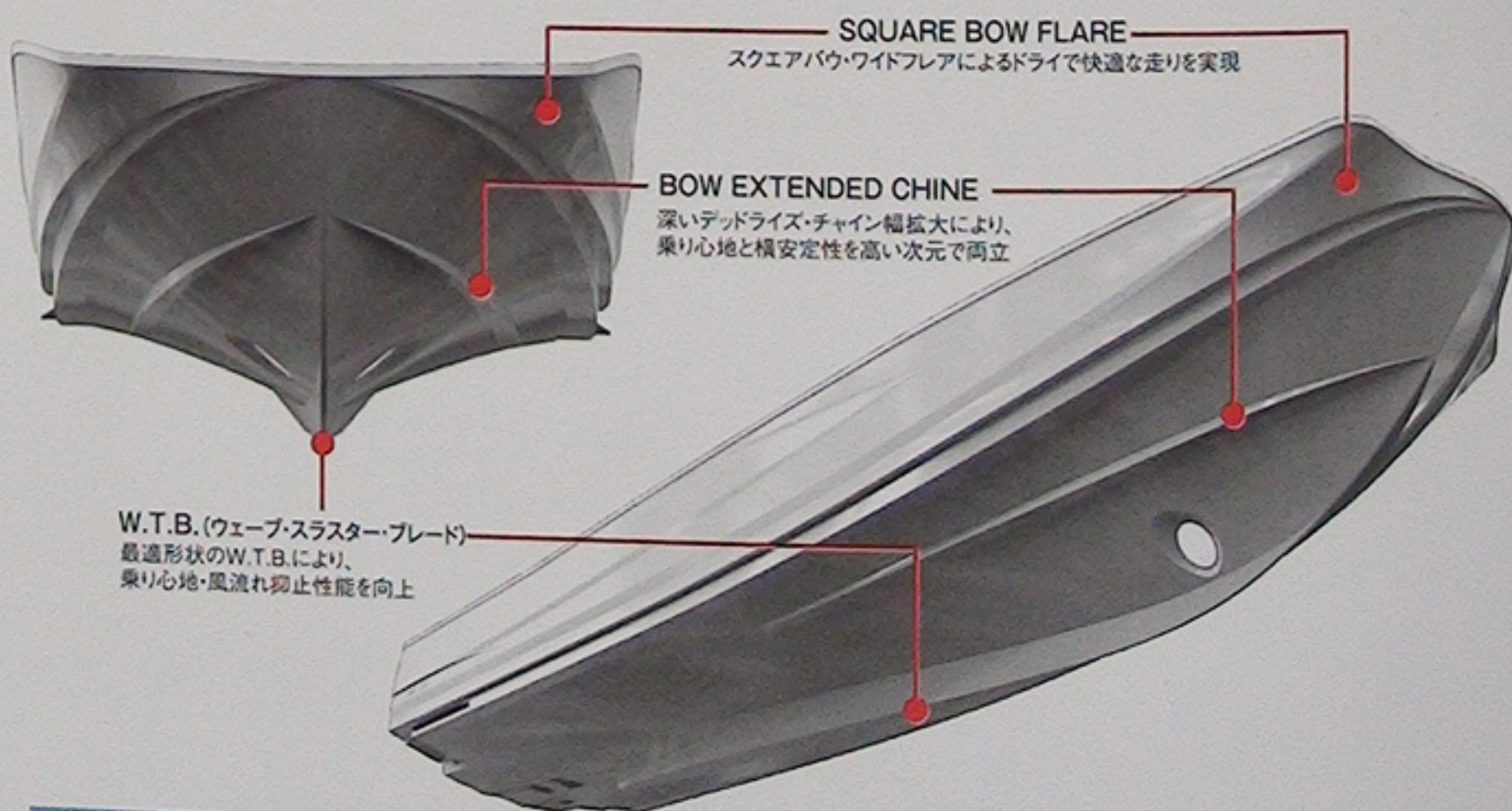
より早く、より遅く、より安定した走りのために。

ヤマハでは、既存技術の研鑽と新技術の開発に取り組み、水面と直に接する艇体とパワーの源であるエンジンとのバランスを追及。さまざまなシーンで、アングラーの期待を超える走りを実現しています。

理想を追求したハルデザイン

乗り心地や風流れ抑止性能に効果を発揮するW.T.B. (ウェーブ・スラスタ・ブレード) をスターン方向に延長。さらに形状を最適化することで直進性を高めるとともに、旋回時における素直な操縦性を実現しました。

加えて、W.T.B.の船首部の波に打ち込む角度を突き詰めることで、波あたりのショックを和らげ、優れた乗り心地を実現しています。また、スクエアバウの形状を活かし、大きく反り返ったワイドフレアを実現。バウ側のオーバーハングした幅広のストライプで、走行時に発生するスプレーを外側へ捌き、さらに巻き上がる飛沫をワイドフレアで抑えることに成功。外洋でのポイント移動などでも優れたドライネス性能を発揮し、快適に走行することができます。



FG-35 とのハルの比較 □ DFR-36 ■ FG-35



視認性の高いフライングブリッジ

オープンエアーの開放感あふれるDFR-36FBのフライングブリッジ。定員2名で座りやすい高さの椅子を配置。ゆとりのスペースと360°の視界を確保するとともに、高い視点により、ナブラや鳥山など遠方の海面変化をいち早く視認することができ、また浮遊物などの早期発見にも貢献します。コックピット、各種計器類の他、航海計器をビルトイン可能なダッシュボードを機能的にレイアウト。工場オプションでレーダーゲートも装着可能です。



DFR-36FB



DFR-36FB

アングラーズ・ファースト、すべては快適な釣行のために

アングラーがフィッシングボートに求めるポイントは、釣り場における戦闘力の高さ。

ヤマハでは、“アングラーズ・ファースト”の視点から開発に着手、風流れ抑止性能や静止安定性、

使い勝手やオーナー自らが艦装することも考慮したデッキレイアウト、

すべては快適な釣行のために生み出されました。

寛ぎやすさを追い求めた空間設計

出港しポイントに到着するまでの時間、ポイント移動の間、帰港する時間など、ロッドを出していない時間は意外に長く、この時間をいかに快適に過ごせるかが、釣行全体の満足度に大きく影響します。そのため、アングラーにとって従来のフィッシングボート以上の理想の空間を追求。キャビン内には、ドライバーを含めて5~6名が座れるスペースを確保(DFR-36EX・DFR-36FB)。エアコン(OP)の吹き出し口も効率的に配置しています。コックピット前方には、独立タイプのトイレルームを完備。十分な広さを持ち、トイレシンクも備えています。パウバースは奥行(最大2.4m)・幅(最大2.0m)・高さ(最大1.8m)と大きなサイズで、大人2名がゆったり横になることができます。また、エアコンや電子機器などの装備を考慮し、大容量電源システムも用意しています。



充実の釣りスペース

さまざまなスタイルのフィッシングを楽しむために、スクエアバウを採用し、一般的なバウデッキより大幅にスケールアップした広さを確保しました。腰まであるパウレールを装備し、キャストやジギングなど、激しいアクションを伴うフィッシングの際のアングラーの姿勢保持に貢献します。また、ブリッジ前部を座れる形状・高さにデザインすることで、座った状態での釣行も考慮。さらに、全周ウォークアラウンド仕様で、通路幅も310mmと前を向いて歩ける広さを確保し、デッキ間の移動をスムーズにするとともに、フィッシングスペースとしても活用できます。アフトデッキはフィッシングのメインステージとして十分な広さを備え、ブルワークを高く設定することで安心感も高めています。



DFR-36 EXTERIOR



さまざまなフィッシングスタイルにジャストフィットするカタチ。

キャストイング、ジギング、そして流し釣りなど、ワイドなパウデッキがさまざまなフィッシングシーンを連想させ、心を躍らせる。アングラーの熱き思いを受け止めるカタチがそこにある。



2人が余裕でキャストできる広いスクエアパウ。釣り座を考慮したブリッジ前部、釣りスペースを確保した幅310mmのウォークアラウンドサイドデッキ。そしてスーパースローリモコンを装備したアフトステーション(EXに標準装備)。スターンデッキには4人がロッドを降ろせる広さがあり、船首で追うキャストイングゲーム、デッキスペースが活きる中深海スローピッチジギングゲーム、ビッグゲームを考慮したトランサムゲートなど、DFR-36はあらゆるフィッシングシーンを想定した機能を持っています。



A ローブロッカー

パウデッキ中央にはウィンドラススペースとクリートと大容量のアンカー&ローブロッカーを装備。



B パウスラスタ

パウスラスタを標準装備。一軸インボード艇でありながら、マリーナ内などの狭水路でも取り回しが容易です。



C フロントウィンドウ

大型ワイパーを装備。流線的なフォルムをリードする曲面ガラスのフロントウィンドウは、ワイドな視界を確保しました。





D スクエアバウ・パウレール

バウで追いかけるキャストゲームに有利なフラットで広いスクエアバウ。パウレールは身体の高さを確保。ブリッジ前方部を低くしたため、釣り座としても使用できます。

E スターンデッキ

広くフラットなスターンデッキ。ブルワークは、フィッシングの時、身体をホールドしやすい高さに設定しました。

F セミウォークアラウンドデッキ

通路幅が310mmと前を向いて歩ける広さを確保。フィッシングスペースとしても利用可能なサイドデッキです。

G ブリッジ後部・キャビンドア

H アフトステーション (工場OP/EX:標準)

アフトステーションをEXに標準装備。キャプテン自身も釣りに集中できるスーパースローリモコン (EXに標準装備) はプロペラ回転数も表示可能な液晶ディスプレイ付き。バウスラスタレーバーや、GPS魚探ディスプレイ (OP) のスペースも確保。キャプテンの釣りをサポートするとともに、単独釣行も可能にしています。

I アフトシンク&シャワー

魚や餌等で汚れた手を清水で洗えるシンクをブリッジ後部にレイアウト。シャワーとしても使用できます。

J サイドウィンドウ

キャビンサイドウィンドウは、右舷、左舷ともにスライドタイプとしました。

K オープンガンネル

スターンのガンネルはロッドホルダーや、ロッドキーパーなどの後継装を考慮したオープンガンネル仕様です。

L イケス・イクススカッパー (EZキャップ)

スターンデッキ中央に、大容量のイクスを装備しています。スカッパーには、EZキャップを採用。装着したまま使用でき航走中の排水時でも魚の張り付き現象が発生しにくいキャップです。



M デッキウォッシュ (OP/EX:標準)

スターンデッキ後方中央に、デッキウォッシュをEXに標準装備しました。

N トランサムステップ (FRP製) (工場OP)

トランサムステップは、FRPと木目調の合成木材製から選択可能です。

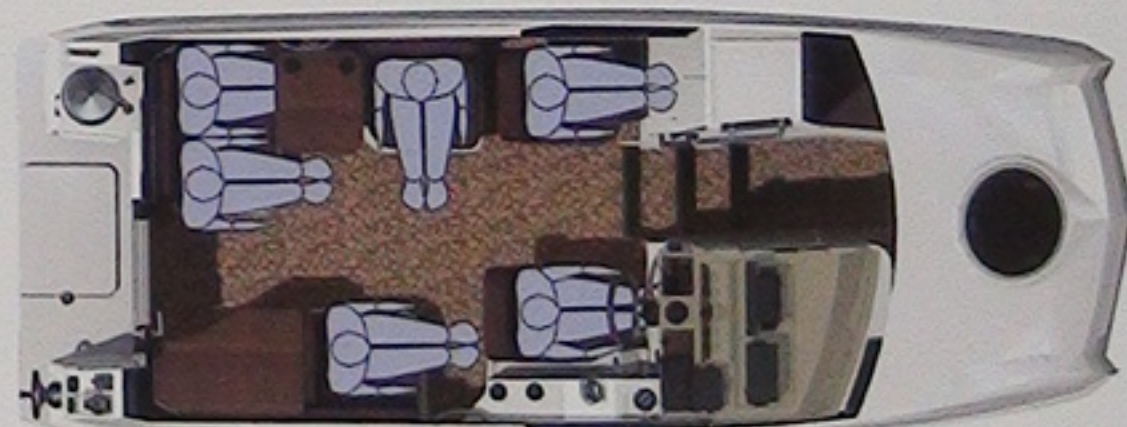


DFR-36 INTERIOR

オーナーの思いが広がる、可能性を秘めた広いインテリアスペース。

ボートフィッシングを極めてきたキャプテンにとって、このDFR-36のインテリアの広さを観る時、さまざまな想いが巡るはずです。憧れの遠征釣行、船中泊、至極の食、そして団楽。その思いのすべてがかなう空間をこの艇は持ち合わせている。

DFR-36EXは最大6名が座れるキャビンを実現。また、フラットになるサイドシートと合わせパウバースもフルフラットにすれば、3人がゆったり船中泊が可能なスペースを確保しました。エアコン(OP)や電子機器などの装備を考慮し、大容量電源システムも装備。航海計器のレイアウトや、ロッドラックなどのタックルを保管するための装備のセレクトなど、キャプテンの思いがそれぞれのDFR-36を創り上げていく。オーナーが追い求めてきた釣り人生の集大成が、徐々にでき上がっていくだろう。



DFR-36



DFR-36EX



A B パウバース・シェルフ

広いパウバースは大人2人がゆったり寝ることができ、船中泊も可能です。クッション下は大容量の物入れを確保。左右のシェルフは長尺物の収納に便利です。(パースクッション・バックレストEXに標準装備)

C パウスカイトライトハッチ

大口径のエアークリーナーを装備。採光性が高く、夏の船中泊を考慮した網戸カバー付きです。

D パウバースカーテン (EXに標準装備)

E 操船席・航海計器スペース

コンパクトにレイアウトされた計器類と、丸いアナログメーターが精悍な印象の操船席。各種航海計器の設置を考慮したスペースを確保しました。(木目調パネルEXに標準装備)

F サイドロッカー

G 個室トイレルーム

電動マリントイレとシンクを装備した個室トイレ。ヘッドクリアランスも十分に確保しました。

H ドライバースシート(ダンパー仕様)

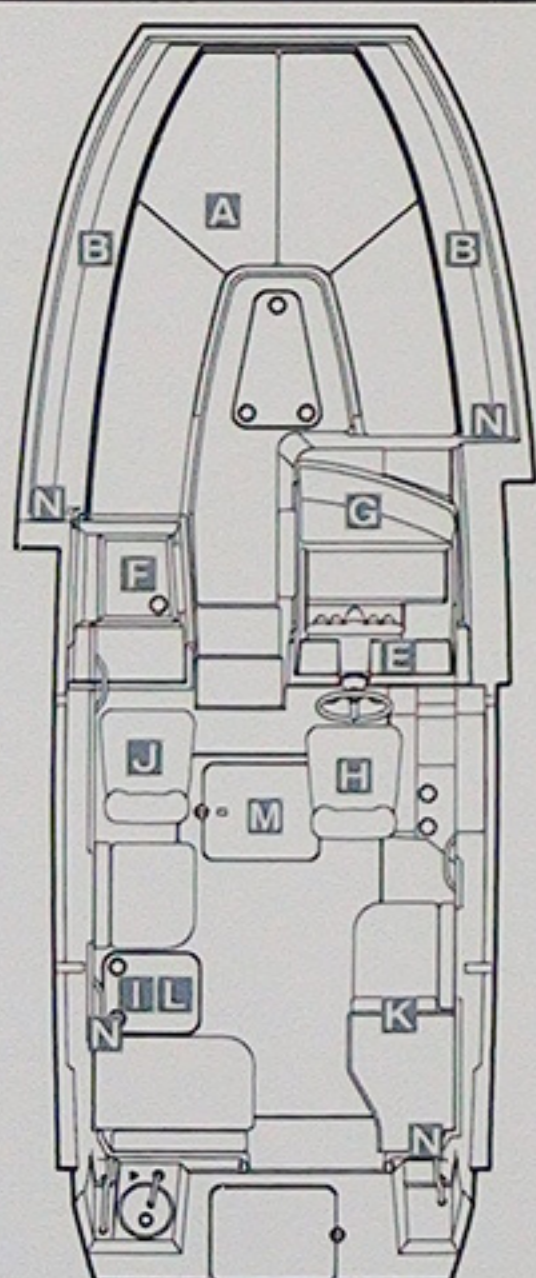
高さ調節、回転機能、ダンパー付きのドライバースシート。キャブテンの最適な操船ポジションを確保し、長時間の遠征走航にも、疲れにくい快適なシートです。

I J パッセンジャーシート・テーブル

走行中3人が座ることのできるパッセンジャーシート。テーブルを下げ、フラットなベンチシートにすれば、仮眠も可能なスペースとなります。クッション下は、物入れスペースになっています。(EXに標準装備)

K ナビシート(ダンパー仕様)

ドライバースシートと同じ仕様で、前を向いて座ることのできるナビゲーターシートを標準装備しました。



L パッセンジャーシート・ロッカーユニット

前向きでも、横向きでも座れるパッセンジャーシート。キャビン入口にはさまざまな小物の収納に便利なロッカーユニットを装備しました。(EXに標準装備)

M エンジンルームハッチ

キャビン中央にエンジンルームハッチを設置しました。エンジンルーム前方からのエンジンのメンテナンスに有効です。ハッチには充分な防音材を施し、エンジン音をキャビンに響かせない仕様となっています。

N AC100Vコンセント(工場OP)

工場オプションのエアコンとセットで、AC100Vコンセントをキャビンとパウバースに4箇所用意しました。これにより電子レンジなど家電製品の使用が可能となり、遠征時などより充実したキャビンライフを過ごすことができます。

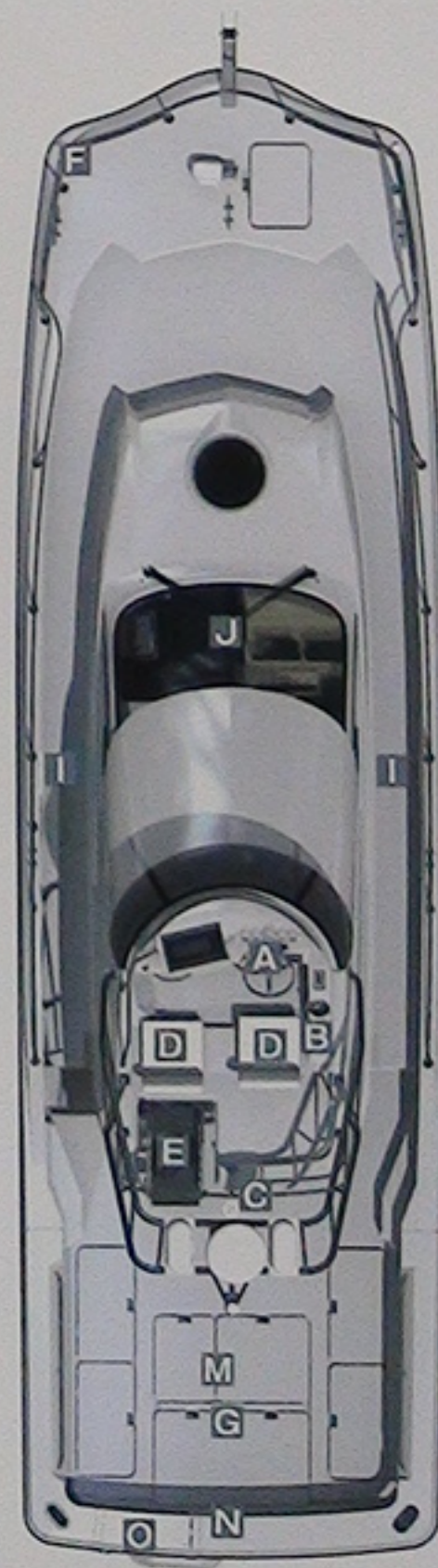
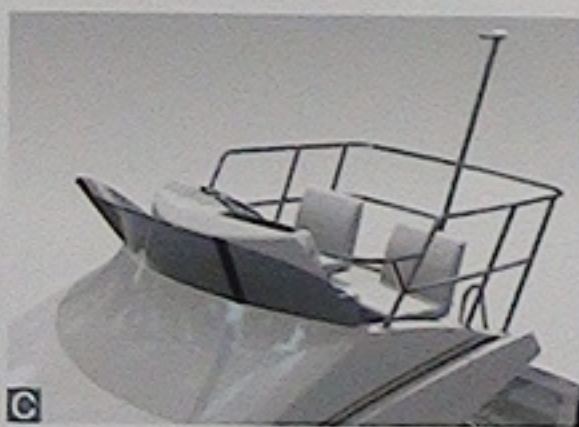
写真にはオプションおよび撮影のための小道具が含まれています。

DFR-36FB EXTERIOR



スポーツフィッシングの本質を追求した造形美。

広々としたフィッシングスペースと充実の釣り機能を備えたDFR-36に、開放的な操船感覚とスポーティなフォルムを際立たせるフライングブリッジを装備しました。フライングブリッジとロアステーションに加え、アフトステーション（工場OP）を装備すれば3箇所での操船が可能、さまざまなフィッシングスタイルに応えます。船首で追うキャスティングゲームやジギング、さらにビッグゲームへとアングラーの熱き思いが広がります。



A フライングブリッジ・コックピット **B** リモコン(電気式)

定員2名のフライングブリッジ。高い視点と360°の視界により、ナブラや島山など遠方の海面変化をいち早く視認することができます。また、計器類やリモコンレバー、ステアリングを機能的にレイアウト、GPS魚探などの設置スペースも確保しました。

C FBレール

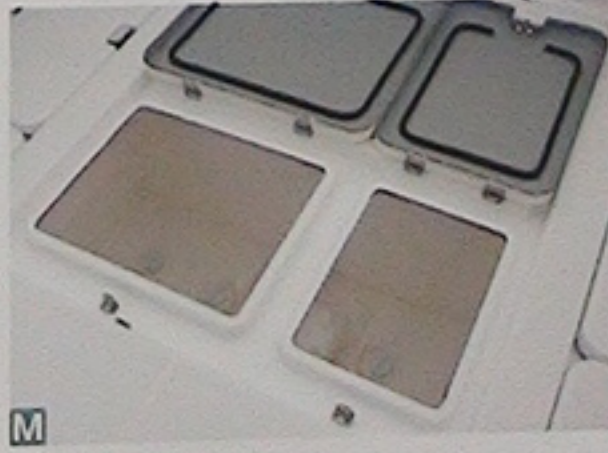
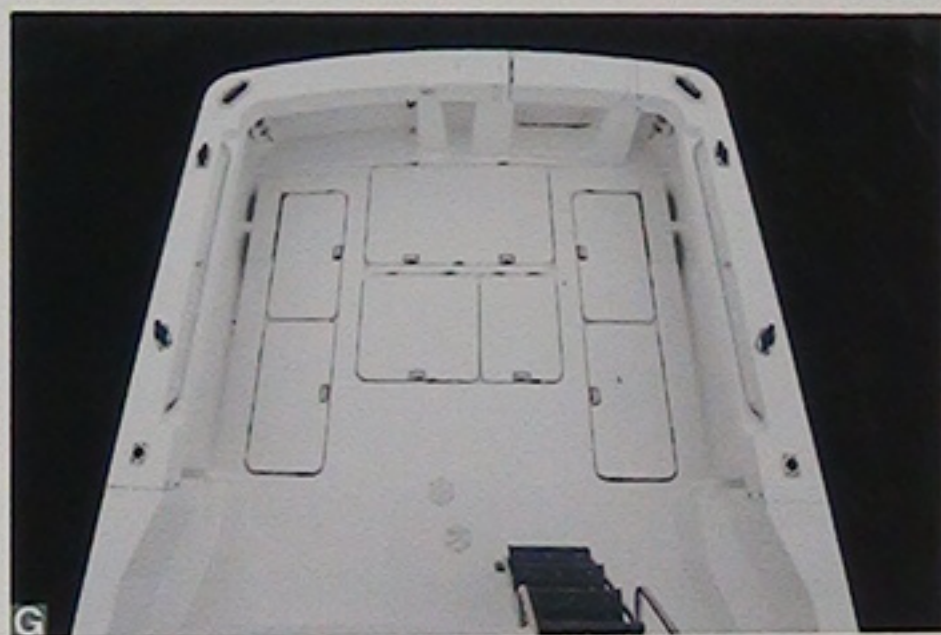
強度を確保しながらシンプルにデザインされたフライングブリッジレール。計算された形状と高さ設定により、快適なクルージングをサポートします。

D ドライバースシート・ナビシート(スライド式)

体型に合わせてポジション調整できるスライド式を採用。また、床面から座面までの高さを300mmと低めに設定することで、座りやすく、航走時の波の衝撃にも安心感をもたらせています。

E FBラダー

フライングブリッジへの昇降用のラダーを左舷側にレイアウト。ステップとハンドグリップの間隔を最適化することで、昇り降りしやすい安心感を高めています。



F スクエアバウ・パウレール

広いスクエアなパウデッキ。パウレールは身体のホールドに安心感をもたらす高さに設定。工場オプションのハンディタイプのスーパースローリモコンを装着すれば、フィッシングのアドバンテージはより高くなります。

G スターンデッキ

広くフラットなスターンデッキ。ブルワークは、フィッシングの時、身体をホールドしやすい高さに設定しました。

H バウスラスター

バウスラスターを標準装備。マリーナ内などの狭水路でも取り回しが容易です。

I セミウォークアラウンドデッキ

通路幅が310mmと前を向いて歩ける広さを確保。フィッシングスペースとしても利用可能なサイドデッキです。

J フロントウィンドウ

大型ワイパーを装備。流線的なフォルムをリードする曲面ガラスのフロントウィンドウは、ワイドな視界を確保しました。

K アフトステーション(工場OP)

液晶ディスプレイ付きのスーパースローリモコンを備えたアフタステーション。状況に合わせて、スーパースローリモコンが繊細なスロットルワークを行うことでキャブテン自身も釣りに集中しやすくなります。

L アフトシンク&シャワー・陸電・充電器(工場OP)

スターンデッキ左舷前方、FBラダー下に、シャワーとしても使用できる手洗いシンクを標準装備。マリーナステイに便利な陸電装置はオプションで用意しています。

M イケス・イケススカッパー(EZキャップ)

大容量のイケスのスカッパーには装着したまま使用でき、整流効果・水位調整効果が高いEZキャップを採用。キャップの回転数により、噴き出す勢いを調整し、水流を弱めることができます。また航行中の排水時でも魚の張り付き現象が発生しにくいため魚にやさしいキャップです。



N デッキウォッシュ

スターンデッキ後方中央に、デッキウォッシュを標準装備しました。

O トランサムゲート

大型魚の取り込みを考慮したトランサムゲートをスターンデッキ左舷側に装備。

P トランサムステップ(合成木材製)(工場OP)

写真にはオプションおよび撮影のための小道具が含まれています。



DFR-36FB INTERIOR

英気を養うプライベート空間、大切な時間が流れてゆく。

理想の空間を具現化するため、居住性の向上と快適性を追求したDFR-36FB。高級感のある木目調で統一されたサロン調キャビンには、ラウンジタイプのシートを中心に、合わせて大人5名が座ることのできるシートを確保。収納スペースやテーブルなどの各種装備も機能的にレイアウトしました。エアコン(工場OP)や電子機器などの装備を考慮し、大容量電源システムも装備。機能的かつ格調高いインテリアスペースとしています。



キャビン・ラウンジシート仕様



キャビン・テーブル仕様



A バウバース・シェルフ

広いバウバースは大人2人がゆったり寝ることができ、船中泊も可能です。クッション下は大容量の物入れを確保。左右のシェルフは長尺物の収納に便利です。

B テーブル

センタークッション下には高さ調節可能な組立式のテーブルを用意しました。

C バウスカイトハッチ

D バウバースカーテン

バウバースの入り口にはキャビンの木目調に合わせてカラーコーディネートしたカーテンを装備。両サイドをホックで止めることができるため、バウバースを独立したプライベートルームとして使用することも可能です。

E ロアステーション

コンパクトにレイアウトされた計器類と、丸いアナログメーターが精悍な印象のcockpit。各種航海計器の設置を考慮したスペースを確保しました。また、工場オプションのエアコンの吹き出し口を機能的にレイアウトすることで、快適な室内操船を可能にしました。

F ドライバースシート(ダンパー仕様)

ロアステーションには高さ調節・回転機能、ダンパー付きのドライバースシートを装備。キャプテンの最適な操船ポジションを確保します。

G ギャレー

キャビン前方にはシンクと清水用のカラン(水栓)を備えたギャレーを用意。軽食の準備などに便利な装備です。シンク横のシェルフと下部のロッカーは調味料などの保管スペースとして利用できます。

H パッセンジャーシート・ロッカーユニット・冷蔵庫(工場OP)

前向きでも、横向きでも座れるパッセンジャーシート。キャビン入口にはさまざまな小物の収納に便利なロッカーユニットを標準装備。下部には工場オプションで冷蔵庫を設置することができます。



I 個室トイレルーム

電動マリントイレとシンクを装備したトイレルーム。ヘッドクリアランスも十分に確保しました。

J サイドボックス

左舷パッセンジャーシートの前に引き出し式のサイドボックスを用意しました。

K パッセンジャーシート

テーブルを挟んで座ることができるパッセンジャーシート。テーブルを下げてフラットなベンチシートにすれば3人が着座可能。もちろん仮眠スペースとしても利用でき、用途に合わせたシートアレンジが可能です。シート下は物入れスペースとなっています。

L エンジンルームハッチ

キャビン内よりエンジンルームに入ることができます。

写真にはオプションおよび撮影のための小道具が含まれています。



DFR-33 TECHNOLOGIES

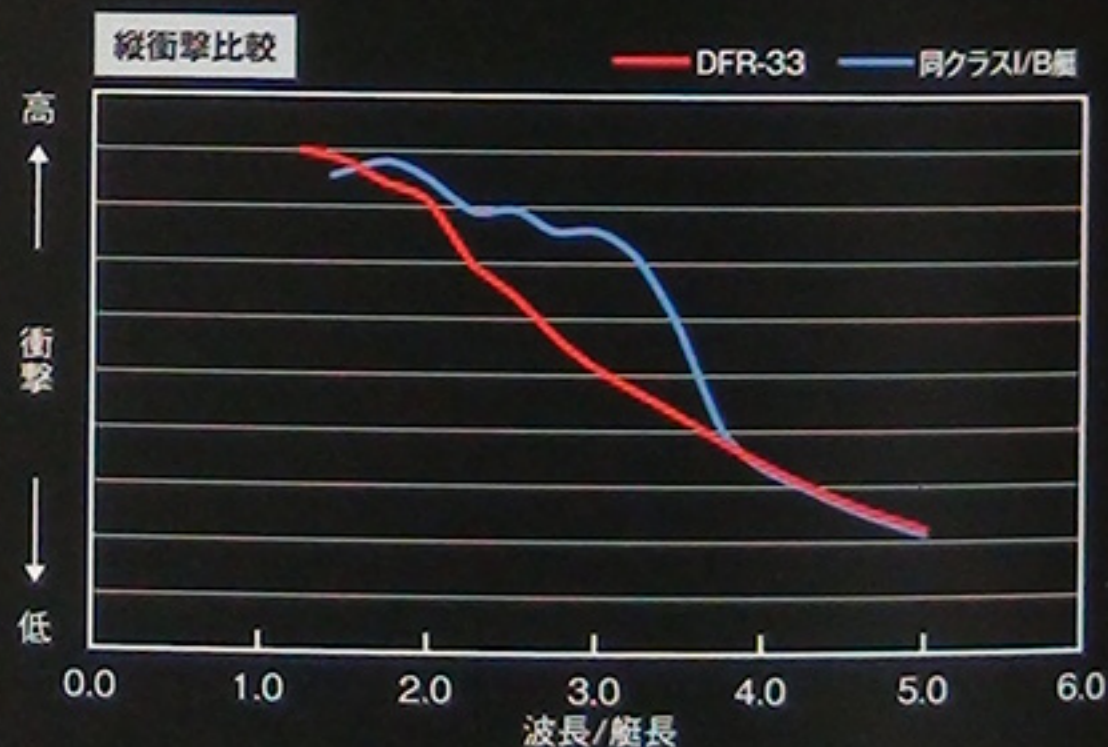
DFRのDNAを受け継ぎ、さらに進化を遂げる



船型デザイン

乗り心地や風流れ抑止性能に効果を発揮するW.T.B. (ウェーブ・スラスタ・ブレード)を採用。形状を33フィートの船体に最適化させることで直進および、旋回時における素直な操縦性を実現しました。オールニュー設計の船型は、船首部の波の打ち込み角を徹底的に分析し、最適な入水角を実現。波あたりのショックを和らげ、優れた乗り心地を実現しています。また、広い面積を確保したチャインは、スターン側ではフラットな角度、バウにいくほど角度

をつけリバースチャインの形状としました。これにより、バウ側では航走時に発生するスプレーを下方に落とす役割を果たし、スターン側ではチャイン本来の目的である静止安定性を高めるという2つの性能を両立しました。また、船首付近の船側面角度を鈍角にすることで飛沫が舞い上がるエネルギーを相殺、スクエアバウの形状を活かしたワイドフレアと併せ、優れたドライネス性能を発揮、快適な走行感覚を味わうことができます。



※艇長の違いにより各波長での縦衝撃度合いが変わります。

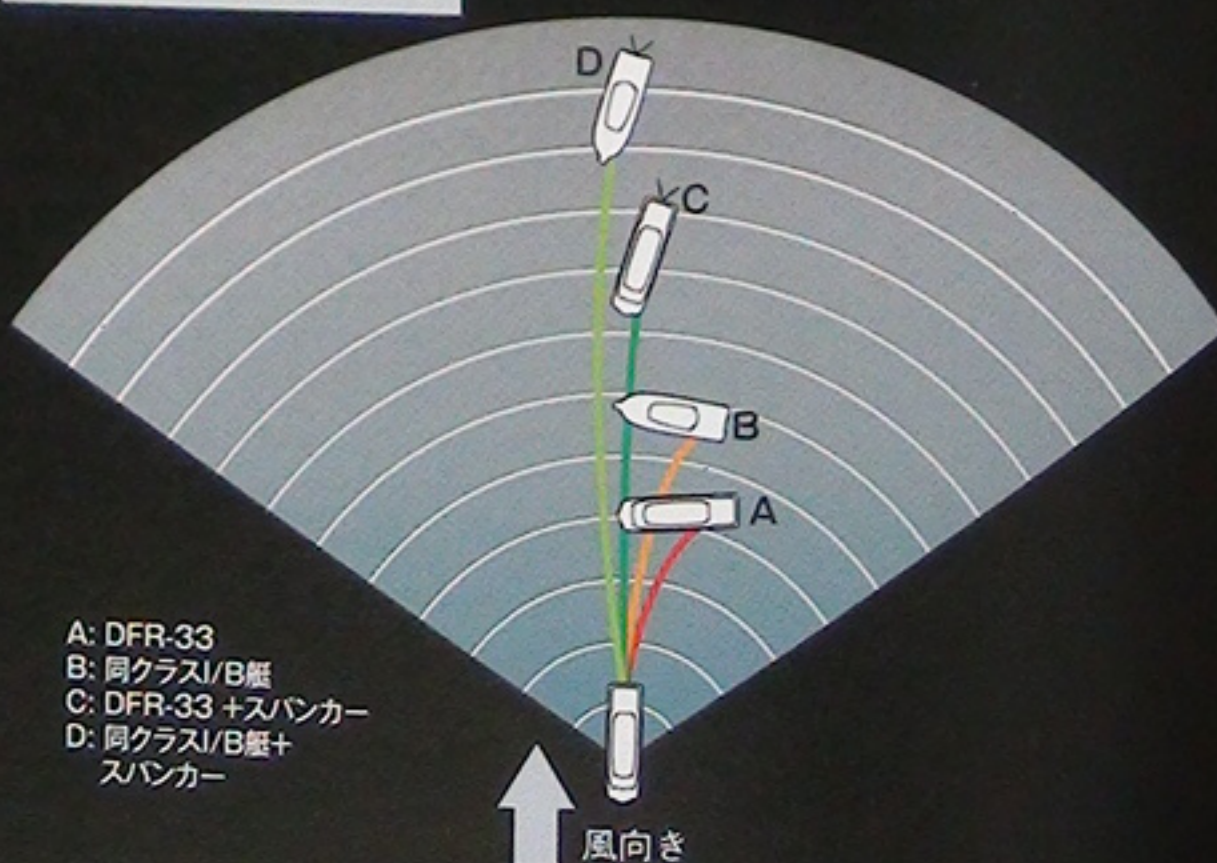
風流れ抑止性能

遠くから見ても一目でわかる低くシャープなフォルムは、デザイン性だけでなく低重心化にも貢献し、深く切れ込んだW.T.B. (ウェーブ・スラスタ・ブレード)との組み合わせで、ひとクラス上のキャビン付きクルーザーと同等以上の居住性を確保しながら、優れた風流れ抑止性能を実現しました。流し釣りでのボートの保針が容易でポイント補正も最小限の操作で行えます。また、オプションのローマストバンカーと組み合わせることで、風流れ抑止効果は一段と向上します。また、ワイドチャインにより静止安定性を向上。船体の横揺れを最小限に抑制することで安心してキャストや流し釣りに集中することができます。

優れた風流れ抑止性能とは: 風に流されにくく船首が風下を向きにくい=ポイントに戻りやすい

DFR-33 (イラスト) は今までの同クラスのインボード艇 (イラスト) と比較して、船首が風に流されにくく、風下を向きにくい。そのため、ボートの向きやポイントの補正が最小限で済むことになります。加えて、スバンカーを使用 (イラスト) すれば、ほぼ船首を振られることなく流されるため、シフト操作のみでポイントに戻ることができます。

風流れ抑止性能比較イメージ



メインキャビンは余裕のレイアウト

DFR-33では、「陸に戻った時の疲労感」の低減を目指し、船型による乗り心地の向上はもちろん、居住性も重視しました。キャビン内での時間をいかに快適に過ごせるかが、釣行全体の満足感に大きく影響します。こだわったポイントは4つ。

1. 乗船者同士、適度な距離感がある
2. 楽な体勢で座れる
3. 船内移動時に体を保持できる
4. 開放的な視界



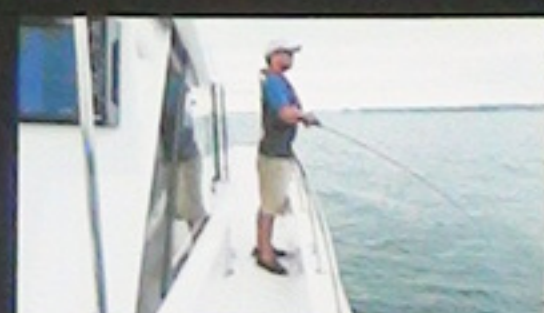
キャビンはドライバーを含め4名前後が前向きで座れるレイアウト、乗船者同士がゆとりある距離感を持って座れる空間としました。また、航走時のホールド性を考慮し、ドライバーズシートとナビシートにバケットタイプを採用、ナビシート前方のステップは微妙に幅広にすることで、足元から身体を保持することができます。さらに船内での移動を考慮し、最適な位置にハンドレールを配置、揺れる船内での移動をサポートします。広い面積のサイドウィンドウとビラーレスとしたフロントウィンドウが広い視界を確保。また、オーバーヘッドコンソールを配し、航海計器の機能的なレイアウトを可能にしています。エアコン(OP)の吹き出し口も効率的に配置。コックピット前方には、十分な広さを確保した独立タイプのトイレルームを配置し、ワンプッシュで自動排水できるハイグレードタイプの電動マリントイレを採用。仮眠スペースとしては、パウバースに1人分、ベンチシートに1人分用意しています。その他、天井をフラットにすることで天井ロッドラックも設置可能。サイドパネルやシートベース周辺に適切なスペースを設けることで、ちょっとした小物を収納することができるなど、アングラーに対する細かい配慮が行き届いています。

釣りスペースを重視したデッキレイアウト

スクエアパウの採用により、ひとクラス上のフィッシングスペースを確保。さまざまなフィッシングスタイルを考慮したデッキレイアウトとしました。パウへと続くサイドレールは内傾斜させ、腰まであるパウレールとともに、アングラーの姿勢保持に貢献、キャストやジギングなど、激しいアクションを伴うフィッシングの際にも安心感をもたらします。また、座った状態での釣行も考慮。ブリッジ前部を座れる形状・高さにするとともに、パウデッキに釣り座を用意、タックルの準備やランディング時に便利です。さらに、サイドデッキの通路幅もオープンガネルの採用により390mmを確保しました。デッキ間の移動はもちろん、フィッシングスペースとしても活用できます。フィッシングのメインステージとして十分な広さを備えたアフトデッキ。ガネルは左右4人が身体を預けることができるスペースを設け、ブルワークを高く設定することで安心感を高めています。



ルアー交換時などに便利なパウ釣り座



両手でロッドワーク可能な内傾レール



ガネルを太ももで受けて体をホールド

手前船頭を実現した FSR

優れた風流れ抑止性能を持つDFR-33。標準装備のフィッシングサポートリモコン(FSR)を使用すれば、容易にポイントキープすることができます。FSRには、手動ではコントロールに手数を要するデリケートなシフトのオンとオフを時間管理するシステムが組込まれています。従来、釣りながら、微速のシフト操作をしなければなりませんでした。FSR作動時は風速潮流に合わせてレバーを目盛にセットしておくだけで、シフト操作の「ON」「OFF」を自動的に繰り返します。これにより、煩わしいシフト操作から解放され、釣りに集中することができます。さらに、オプションのコネクター差し替え式のハンディリモコンを装着すれば、パウデッキのフィッシングポジションでもFSRの操作や低速でのボート操船を可能にします。



アフトステーション(FSR機能付き)



ハンディリモコン(FSR機能付き)(工場OP)

*風流れを完全にキャンセルするものではありません。(ポイント自動キープ機能ではありません。)風・潮の強さが変わったときには、レバー位置を調整する必要があります。
*風向き、潮流、海象により舵・スウェーの操作が必要です。
*フィッシングサポートリモコンを使用しての遠く釣り(ポイントキープ)を行うためには、スウェーの設置が必要です。
*フィッシングサポートリモコンのご使用に際しては、周囲の他船等の障害物がないことを十分に確認のうえご使用ください。

キーレスエントリーでスマートなエンジンスタート

「e-Key System」採用により、カードキーをイグニッションパネルにかざした後、START/STOPボタンを押すだけで、エンジンの始動/停止が行えます。



初採用のスーパーチャージドエンジン

高性能船体にマッチした高出力エンジンを搭載。ダイナミックな走行性能と、卓越のスピード性能、コモンレールエンジンによる黒煙を抑えた排気と低燃費を実現します。高出力・低燃費はもちろん、不快な臭いの低減や、振動・騒音レベルを極限まで抑えることで、移動時のキャビン内での会話もスムーズにできるなど、快適な長距離釣行をサポートします。



VOLVO D6-435 最大馬力 320kW (435ps)

高圧ポンプで高圧した燃料を各気筒共通(コモン)のレールに送り、噴射ノズルのON-OFFタイミングを電子制御でコントロールし、燃料を各気筒内に噴射するディーゼル機関噴射システムを搭載。

写真にはオプションおよび撮影のための小道具が含まれています。

DFR-33 EXTERIOR



存在感あるシルエットがアングラーの心を昂ぶらせる。

遠くから一目でわかるイーブスライン。DFRのDNAを受け継ぐブリッジのサイドライン。
そして、ボリューム感あるスタイリングが安心感をもたらし、アングラーの昂ぶる心を受け止める。



スクエアバウの採用による、ひとクラス上のフィッシングスペース。激しいアクションを伴うフィッシングの際に安心感をもたらす内傾斜したサイドレールと、腰まであるパウレール。また、座った状態での釣りも考慮し、ブリッジ前部を座れる形状・高さにするとともに、パウデッキに釣り座を用意。フィッシングのメインステージとなるアフトデッキは、ブルワークを高く設定し、ガンネルは左右4名が身体を預けることができるスペースを確保。DFR-33はさまざまなフィッシングスタイルを考慮したデッキレイアウトとしました。



A ローブロッカー

ウィンドラスの設置にも十分な広さを確保したパウデッキ中央に、大容量のアンカー&ロープを収納できるロッカーを装備。



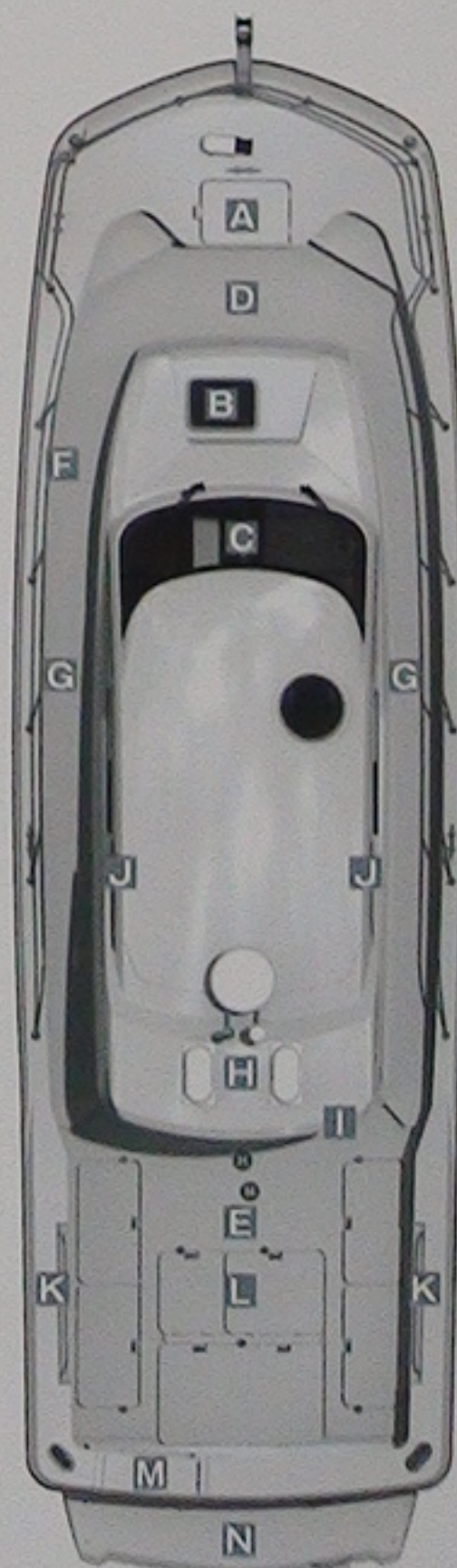
B パウ釣り座

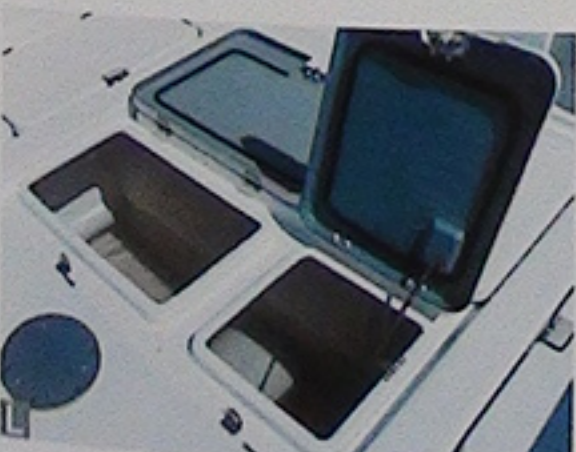
ブリッジ前部の形状と高さを考慮し、座るためのスペースとしました。パウデッキの釣り座と合わせタックルの準備に便利です。



C フロントウィンドウ

ナビゲーター側を含めワイパーを2本装備。曲面ガラスのフロントウィンドウは、センターピラーを排除することで、ワイドな視界を確保しました。





D スクエアバウ・パウレール

広くフラットなスクエアバウを採用。パウレール下のデッキ面先端を反り返すことで、スリップしにくい設計としました。パウレールは身体をホールドし、安心な高さを確保しました。

E スターンデッキ

広くフラットなスターンデッキ。ブルワークは、フィッシングの時、身体をホールドしやすい高さに設定しました。

F バウデッキウォッシュ(OP)

左舷バウデッキ後方にオプションでデッキウォッシュを設置可能。バウデッキの清掃に便利です。

G セミウォークアラウンドデッキ

オープンガンネルの採用により最大通路幅390mmを確保、フィッシングスペースとしても利用可能なサイドデッキです。パウレールへと続くサイドレールは内傾斜させることで、フィッシングや移動時の安心感を高めています。

H ブリッジ後部・キャビンドア

I アフトステーション

キャプテン自身も釣りに集中できるFSRやバウスラスターレバーを装備したアフトステーション。15インチGPS魚探ディスプレイ(OP)を横置き可能なスペースを確保しました。

J サイドウィンドウ

キャビンサイドウィンドウは、右舷、左舷ともにスライドタイプとしました。

K オープンガンネル

スターンのガンネルは後継装を考慮したオープンガンネル仕様です。フィッシングの時、身体をホールドしやすいフラットな面を広く設定しました。ガンネルサイドには一時的にルアーを置けるスペースも用意しました。

L イケス・イケススカッパー(EZキャップ)

スターンデッキ中央に、大容量のイケスを装備。使い勝手を考慮し2ハッチとしています。スカッパーには、EZキャップを採用。装着しやす使用でき、航走中の排水時でも魚の張り付き現象が発生しにくいキャップです。



M トランサムゲート

大物の取り込みを考慮したトランサムゲートをスターンデッキ左舷側に装備。

N トランサムステップ(FRP製)(工場OP)

写真にはオプションおよび撮影のための小道具が含まれています。



DFR-33 INTERIOR

インテリアのデザインコンセプトは *Cool Modern*。

広く明るいキャビンは、グレー&シルバーでカラーコーディネート。クールなイメージを漂わせる空間は、仲間との釣行を快適に過ごすため、細部にまでこだわった充実の装備と機能を持っている。



センターピラーレスとしたフロントウィンドウはキャビン内に明るさをもたらすとともに、広い視界を確保。操縦性・視認性に優れたコックピットには、オーバーヘッドコンソールを配し、航海計器の機能的なレイアウトを可能にしています。また、座り心地が良く、ホールド性に優れたダンパー式のドライバーズシートとナビシートに加え、2名が前を向いて座れるパッセンジャーシートを用意。さらに、船内にいる時間を快適なものとするためエアコンもオプションで装備できます。また、独立式トイレルームにはワンプッシュ自動排水式の電動トイレを採用するなど、快適性を追求しました。



A バウバース・パウクション

大人1人が横になれるパウバース。パウクションの装備により、長時間釣行の疲れを癒す休息や仮眠のための快適なスペースとなりました。

B バース下収納

バース下には収納スペースを用意しました。

C パウバースカーテン(工場OP)

パウバースを独立したプライベートルームとして使用可能。女性の着替えなどに便利です。

D 個室トイレルーム

前後長を長く取ることで圧迫感を感じさせない広い独立式トイレルーム。1プッシュで自動排水可能な電動トイレを採用。強制換気装置やルームライト、トイレシンクも装備し、快適性を追求しました。

E コックピット

黒で統一されたコックピットは、各種メーター類を見やすい位置にレイアウト。また、GPS魚探・レーダーなどの航海計器を設置するための広いスペースも用意しました。

F e-key

キーレスエントリーでスマートなエンジン始動を可能にするカードキーシステムです。

G ドライバースシート(ダンパー仕様)

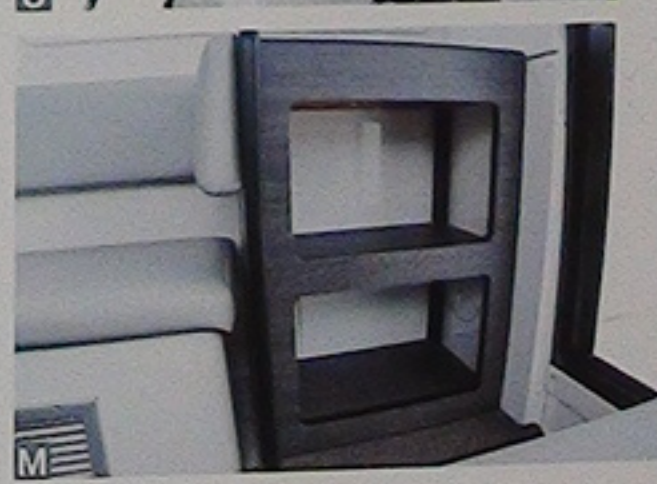
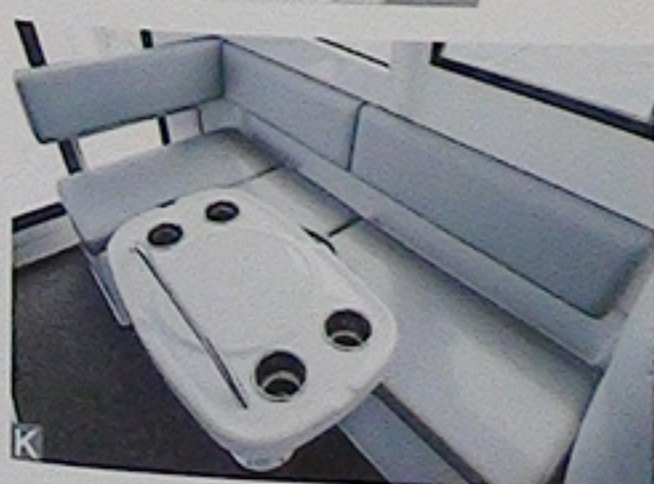
スライド機構付きで、最適なドライビングポジションをとることができ、長時間の操船でも疲れにくいダンパー式のドライバースシートを採用。シートを90度回転させれば、気軽にゲストとの会話をすることもできます。

H ナビシート(ダンパー仕様)

ホールド性の高いナビシート。足元のフットレストは、着座時の使用感を考慮し、わずかに張り出しを設けました。

I オーバーヘッドコンソール

エアコン操作パネルとマリンオーディオを頭上へ配置することにより、コックピットまわりのレイアウトを一新しました。



J 天井ストームレール

天井にレールを設置することでキャビン内の移動がよりスムーズになりました。またフラットなルーフ面にはロッドラックを後装することも可能です。

K キャビンテーブル・左舷パッセンジャーシート

ハンドルとドリンクホルダー付のキャビンテーブルです。左舷のパッセンジャーシートにはバックレストとシートクッションの間に、ライフジャケットや小物などを置けるスペースを設けています。

L 右舷パッセンジャーシート

M ロッカーユニット(工場OP)

キャビン入り口の左舷側に設置されたロッカーは、扉を設けず、使用頻度の高い道具の収納や取り出しを容易にしました。

写真にはオプションおよび撮影のための小道具が含まれています。

DFR-29 TECHNOLOGIES

好釣果を導くためのテクノロジーを結集。

多彩なフィッシングスタイルに応える、鍛え抜かれたボート性能。



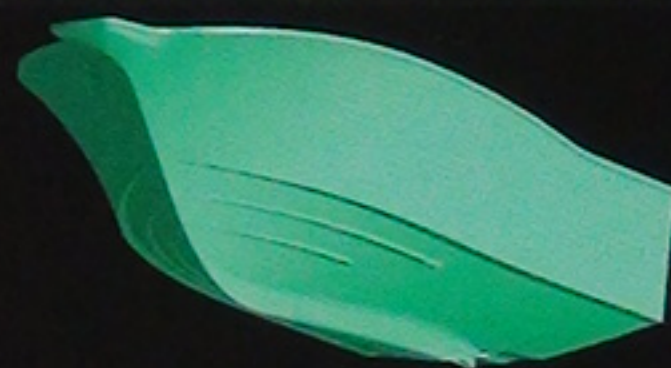
信頼のオフショア ボートを目指して

独自の厳しい開発基準のもと、3D画像による先進の構造解析や過酷な走航テストで培った豊富なデータを生かし、信頼できるオフショアボートを目指し完成度を高めています。



優れた操縦性能と高速航走性能 高性能船型が走りの違いを魅せつける

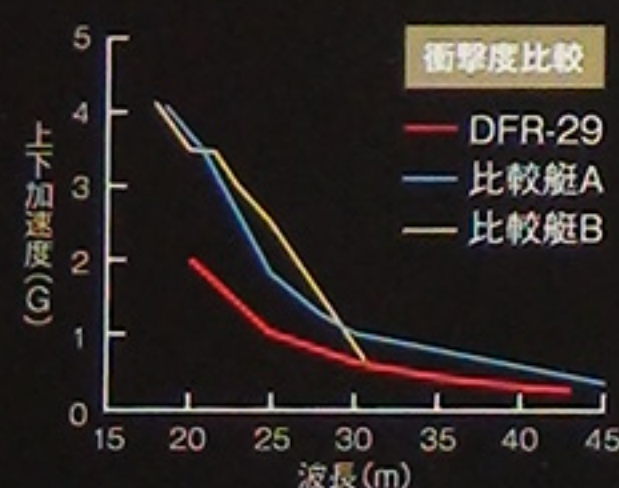
ヤマハ独自のボート性能シミュレーション設計システム【Y.P.D.S※】による構造解析や、さまざまな気象・海象を想定して繰り返し行なわれる試験走航から、高い操縦性と高速航走性能を備えた理想の船型を生み出しています。



※Y.P.D.Sとは、
Yamaha boat Performance
Development Systemの略です。

安全性への深いこだわり

独自の性能設計システム、航行耐久テストによる高信頼の艇体開発に加え、係留時にも機能する火災警報装置を標準で装備しました。さらに浸水警報装置をオプションで用意。快適な乗り心地と安全性を高次元で融合しています。



火災警報装置・浸水警報装置(OP)

※上記のデータは波高1m・船速24kt一定として上下加速度を比較したシミュレーションです。

地球環境に配慮した製造工程

製品ライフサイクル全体で環境負荷低減に取り組むヤマハでは、ブリッジ製造過程にクローズドモールド工法を導入、スチレンを主とした成型時の環境有害物質VOC(揮発性有機化合物)を従来比約90%削減しています。この工法は樹脂に直接触れることがないため、作業環境の改善にも役立っています。



桟橋へのスムーズな離着岸や取り回しに威力を発揮するバウスラスター

従来の1軸艇では桟橋への離岸や着岸は神経を使うものでしたが、バウスラスター(工場OP)を装着することで、より小回りのきくコントロールが可能になります。これにより、取り回しが楽になり、スムーズな方向修正が実現。離着岸や混雑した水域での微妙なコントロールをサポートします。



バウスラスターでの針路修正

風向きなどの諸条件により目標の針路から外れてしまった場合でも、最小限の修正で離着岸することが可能です。

外洋向けに開発されたV型船型

船首側を高めに、船尾側を浅めにしたフリーボードが、外洋耐候性と釣りやすさを両立しています。船底のキールが、高い風流れ特性と、狙ったポイントを確実にキープする優れた保針性を実現。釣り場に長時間留まれるため、アンカーを打たないキャストや流し釣りに最適です。最適なバランスと静止安定性の高い船型により、曳き波などによる船体の横揺れを最小限に抑制。また船体の復元力も向上、安心して乗降できます。

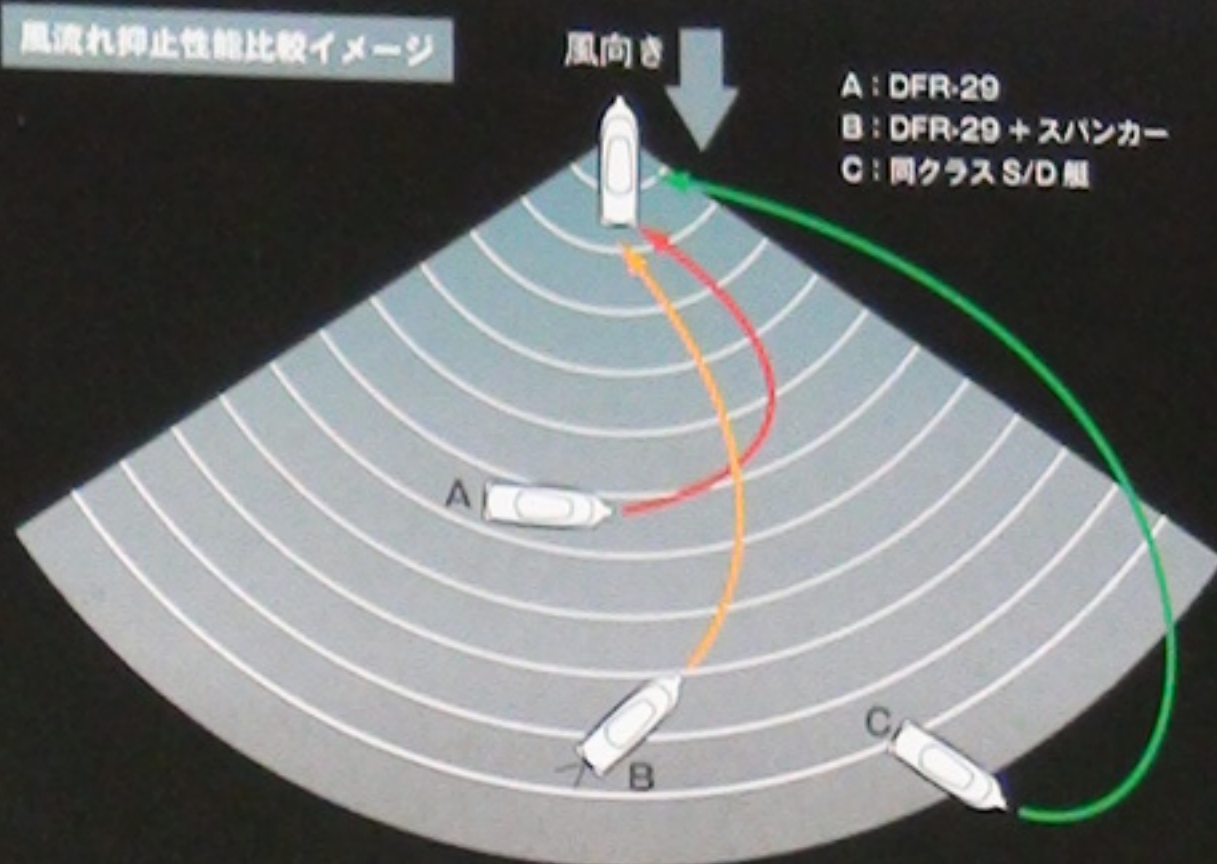
優れた風流れ抑止性能とは

- 波される距離が少ない
- 船首が風下を向きにくい

船体全高を下げ、風の影響を抑え、運動解析により設計されたキール(Course Stabilized Keel)が高速走航性を損なうことなく、キール本来の性能を向上させています。(右図の風流れ比較を参照)

※データはあくまでも風下における定めた試験条件下での実験結果です。従いまして進行時の気象・海象・船体の損傷・船底の状態・乗船人員・運搬・整備などの諸条件により異なってきます。

風流れ抑止性能比較イメージ



Fishing Support Remote Controller

ヤマハでは、プレジャーボート(船外機艇)による本格的な流し釣りを目指し、当初ウェーブ・スラスタ・ブレード(W.T.B.)+オフセットスパンカーで風流れ抑止効果を向上させ、続いて「補機操船システム」によりポイントをキープすることに成功しました。そして、そのポイントキープの利便性をさらに向上させ、新しい流し釣りシステムとして開発されたのがフィッシングサポートリモコン(FSR)です。

ひとりでも、
流し釣りに専念できる。

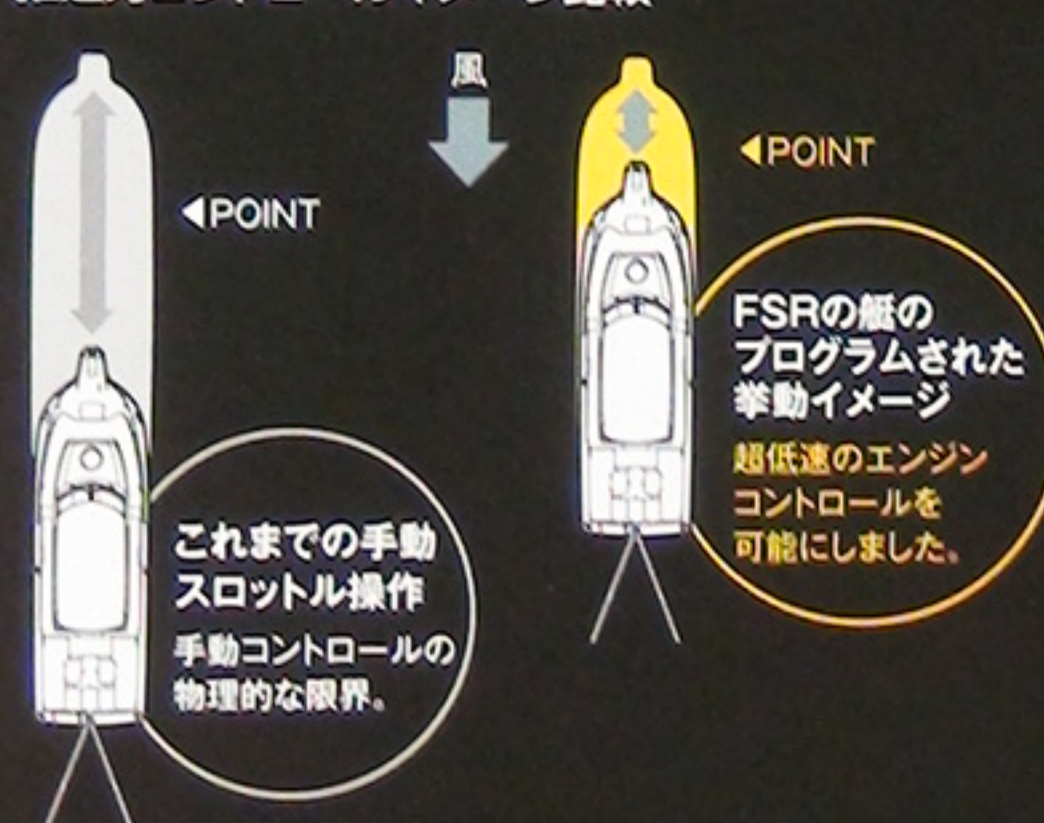
キーレスエントリーで
スマートなエンジンスタート

「e-Key System」採用により、カードキーをイグニッションパネルにかざした後、START/STOPボタンを押すだけで、エンジンの始動/停止が行えます。



FSRには、手動ではコントロールしきれないデリケートなシフトのオンとオフを時間管理するプログラムが組み込まれています。従来は釣りながら、同時にシフト、微速の操作をしなければなりませんでした。フィッシングサポートリモコン作動時は風速・潮流に合わせてレバーを目盛にシフトしておくだけで、シフト操作を自動的に繰り返してくれるので、煩わしい操作から解放され、釣りに集中できます。

推進力コントロールイメージ比較



- シフト操作がタイマーで自動化され釣りに集中できる。
- 超低速・微速が可能となり、これまでの微速装置で対応できなかった微風時にも効果的。
- 後進の自動シフトも可能。
- 逆潮の時にもポイントキープが可能。

FSRのシフトタイミングの目安

あなたは風速目盛りにシフトレバーを合わせるだけ

レバーの位置	7	5	3	1
シフト「入」の時間(秒)	12	8	2	1
シフト「切」の時間(秒)	3	4	12	25

- ※風流れを完全にキャンセルするものではありません。(ポイント自動キープ機能ではありません。)
- ※風・潮の強さが変わったときには、レバー位置を調整する必要があります。
- ※風向き、潮流、海象により船・スパンカーの操作が必要です。
- ※フィッシングサポートリモコンを使用する流し釣り(ポイントキープ)を行うためには、スパンカーの装着が必要です。
- ※フィッシングサポートリモコンのご使用に際しては、周囲の他艇等の障害物がないことを十分に確認のうえご使用ください。

コモンレールシステムを採用した
高出力エンジン

優れた釣り機能はそのままに、さらに機動力を高めました。ダイナミックな走行性能と、磨き上げたスピード性能、コモンレールエンジンによる黒煙を抑えた排気と低燃費を実現します。フィッシングスピリットを全身に纏い、高出力・低燃費はもちろん、振動・騒音レベルを極限まで抑え、V型船型とのベストマッチングにより、優れた走行性能を発揮します。遠征走破力を持つハイパワー仕様で、釣行のスケールを広げます。



VOLVO D6-330 最大馬力 243kW(330ps)

高圧ポンプで高圧した燃料を各気筒共通(コモン)のレールに送り、噴射ノズルのON-OFFタイミングを電子制御でコントロールし、燃料を各気筒内に噴射するディーゼル機関噴射システム。



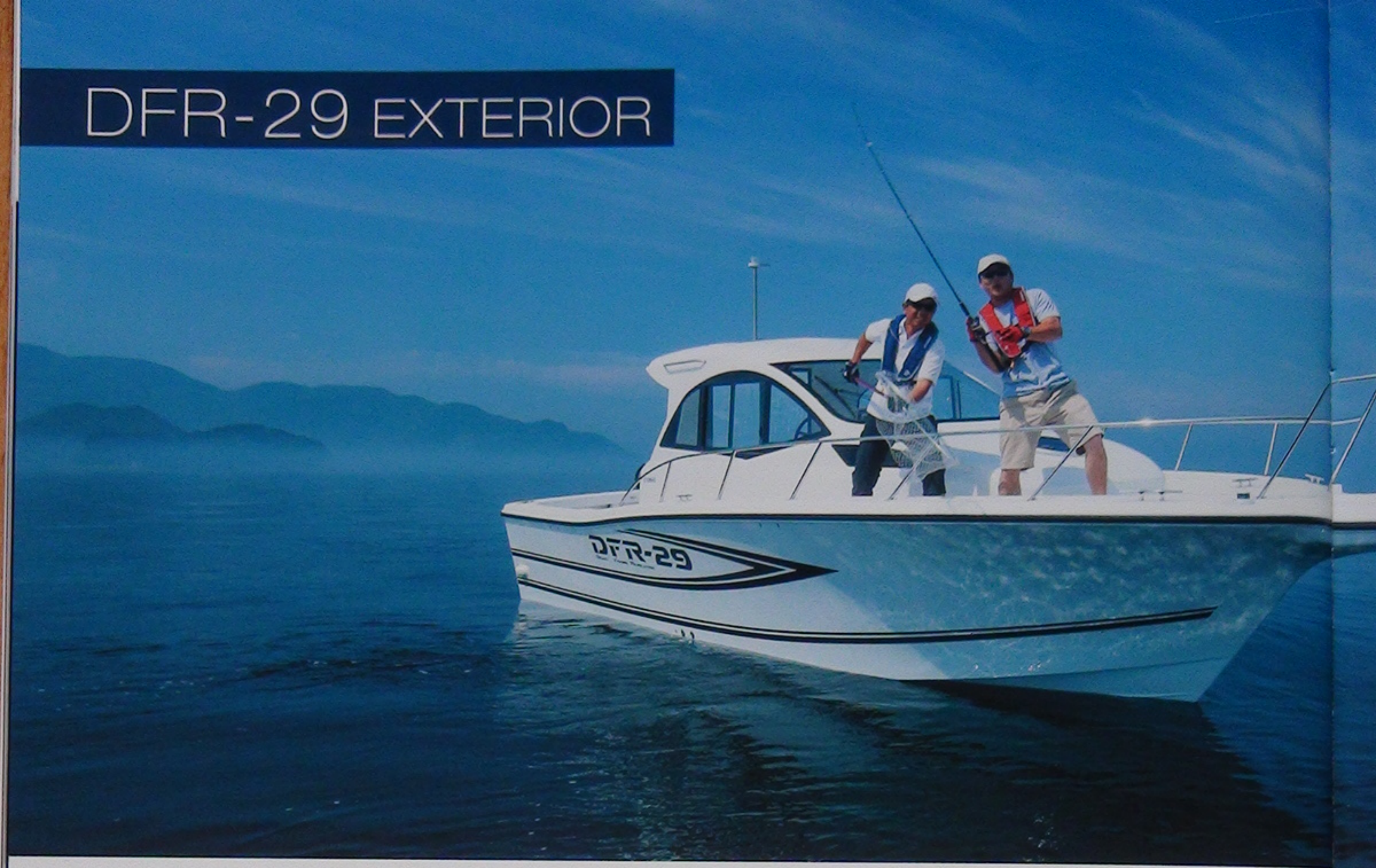
FSR機能付きハンディーリモコン

バウのコネクターにハンディーリモコン(工場OP)を接続すれば、バウデッキでの前後進、ステアリング操作が可能となり、バウデッキに居ながらにして短距離のポイント移動に威力を発揮します。ハンディーリモコンでは最大速力約10ktまでの速度調整が可能。スイッチ一つでフィッシングサポートリモコン機能に切替えることができます。



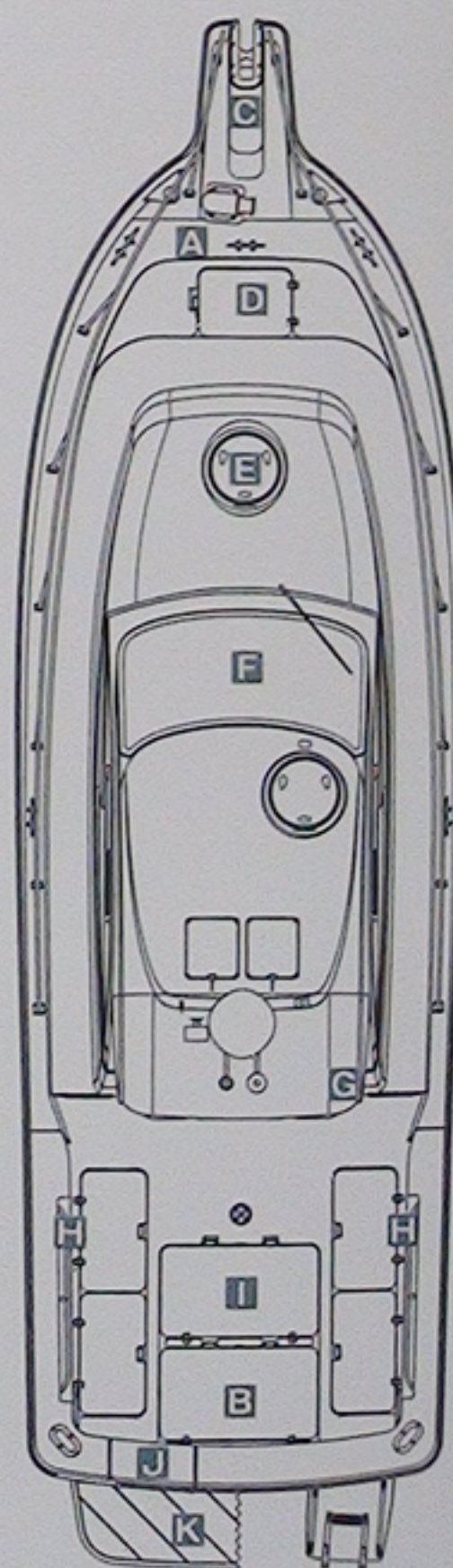
写真にはオプションおよび撮影のための小道具が含まれています。

DFR-29 EXTERIOR

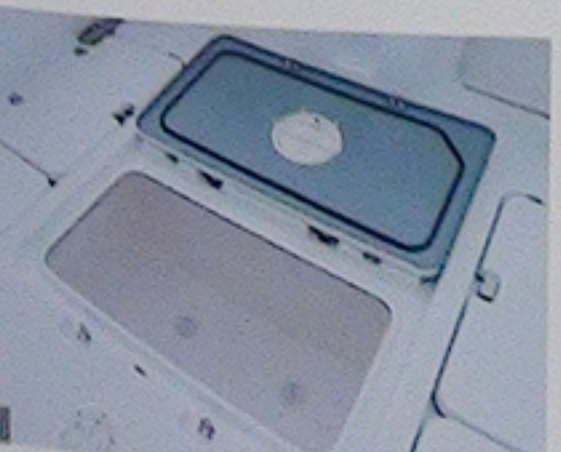
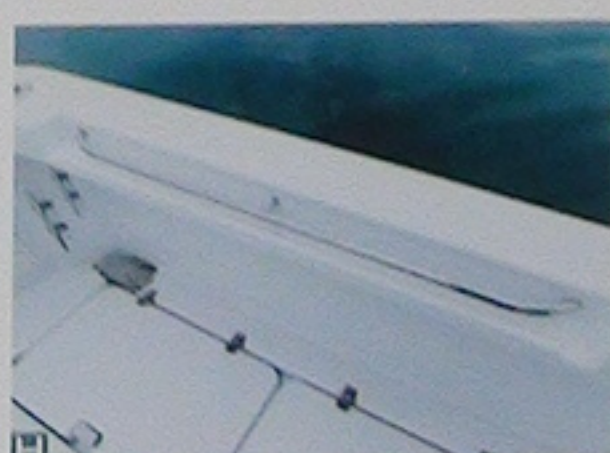
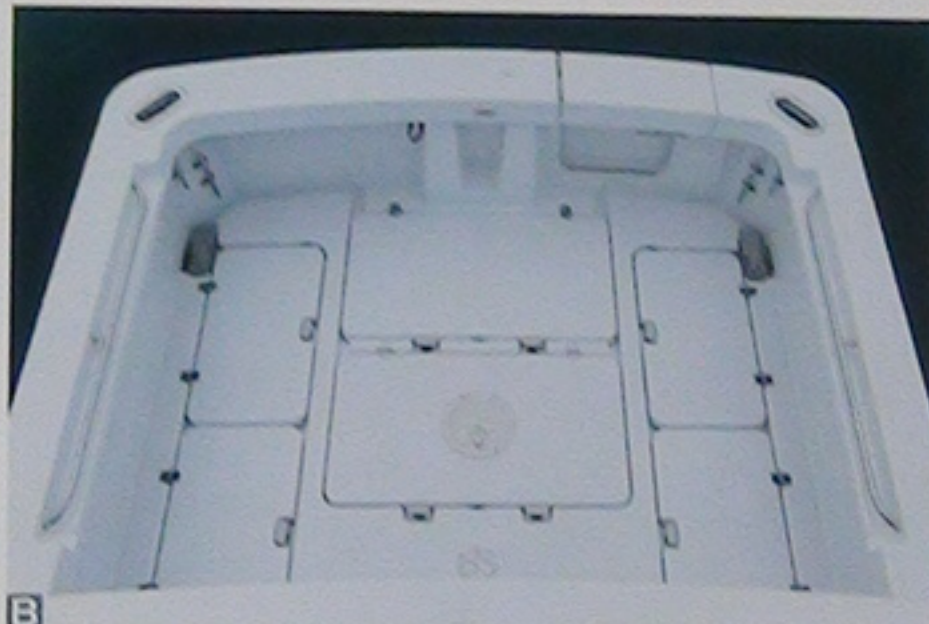


機能美を併せ持つボリューム感あるフォルムが、存在感を示す。

釣りやすさと安心感をもたらすデッキレイアウトと充実の釣り機能、
そして余裕を感じさせるボリューム感あるスタイルが、戦闘モードを駆り立てる。



広さと使いやすさを備えたパウデッキ、デッキ間の移動や釣りスペースとしても使用できるサイドデッキ、1ランク上の広さを感じさせるフラットなスターンデッキなど、フィッシングステージとして高いポテンシャルを備えています。



A バウデッキ

セミウォークアラウンドタイプを採用、洋上での移動やキャストにも安心です。広いデッキスペースには、大型ローブロッカーを使いやすい位置にレイアウトしました。

B スターンデッキ

フラットなデッキスペースは、上位クラスと同等のデッキ長さをもち、収納スペースも随所に設置。釣行の満足度を高める機能的なフィッシングステージです。

C バウスプリット(一体型)・パウレール

スタイルを際立たせるハル一体型のバウスプリット&レールを装備。また、アンカリング作業に威力を発揮するパウローラーとウィンドラス(OP)を用意しています。

D ローブロッカー

アンカーロープ(φ16mm)を最大200mまで収納できる大型ローブロッカーを装備。底釣り時のアンカリングにもスムーズに対応します。

E バウスカイルイトハッチ

パウバースの採光や新鮮な空気を取り込みに役立つスカイルイトハッチ。キャビン明るく快適な空間にします。

F フロントウィンドウ・ワイパー(ワンプッシュ機能付)

広い面積のフロントウィンドウをカバーする大型ワイパーを装備。悪天時でも良好な視界を提供します。また、ワンプッシュで可動する高い操作性も確保しました。

G アフトステーション(工場OP)・フィッシングサポートリモコン(工場OP)

流し釣り操船を容易にするフィッシングサポートリモコン(工場OP)がセットされ、オプションのスパンカーと組み合わせることで優れた風流れ抑止性能を発揮し、ポイントキープの利便性を向上させます。わずらわしい操作から解放し、高い実釣能力を発揮します。キャプテンの釣りをサポートするとともに、単独釣行も可能にしています。また、パウスラスタレバー(OP)の増設も可能です。

H オープンガンネル

ロッドホルダーなどの後継装を容易にするオープンガンネルをスターンに採用しました。年間を通じて様々な釣りを楽しむベテランアングラーの要求に応えます。

I イクス・イクススキャバー(EZキャップ)・イクスサブハッチ

スターンデッキ中央に、200リットルの大容量のイクスを装備しています。スキャバーには、EZキャップを採用。装着したまま使用でき航走中の排水時でも魚の張り付き現象が発生しにくいキャップです。またサブハッチも備え、ハッチ全体を開けずに釣った獲物をすばやく投入できます。

J トランサムゲート

大型魚の取り込みを考慮したトランサムゲートを左舷側に装備しました。

K トランサムステップ(合成木材製)(工場OP)

写真にはオプションおよび機材のための小道具が含まれています。



DFR-29 INTERIOR

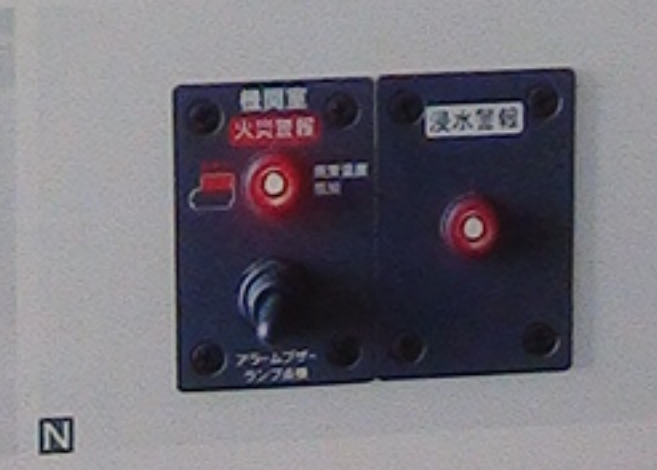
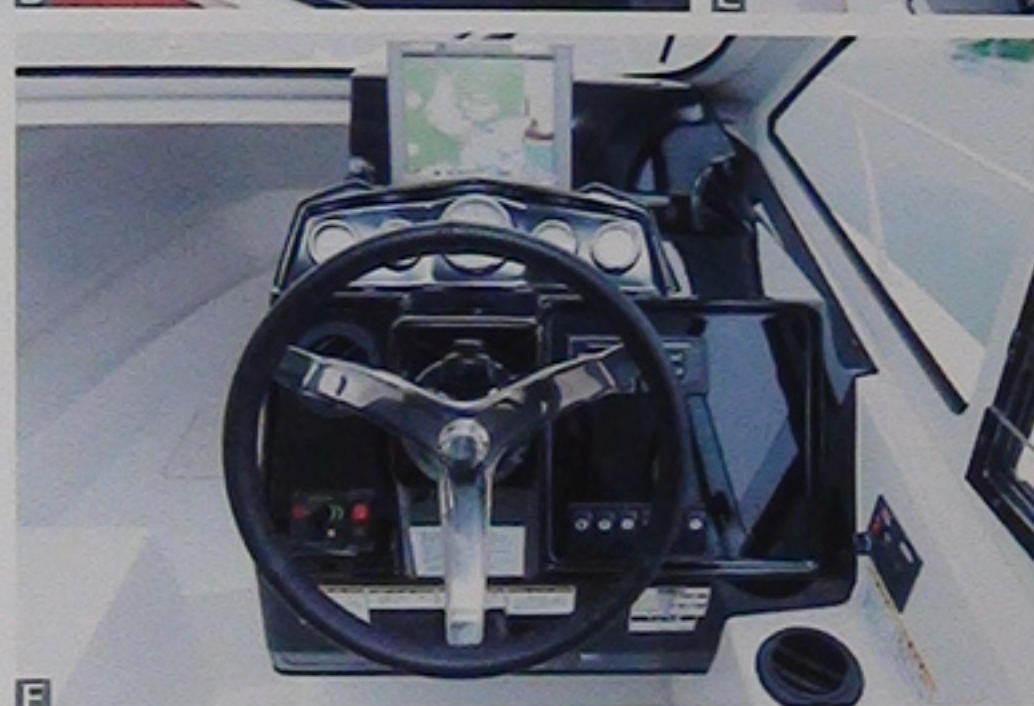
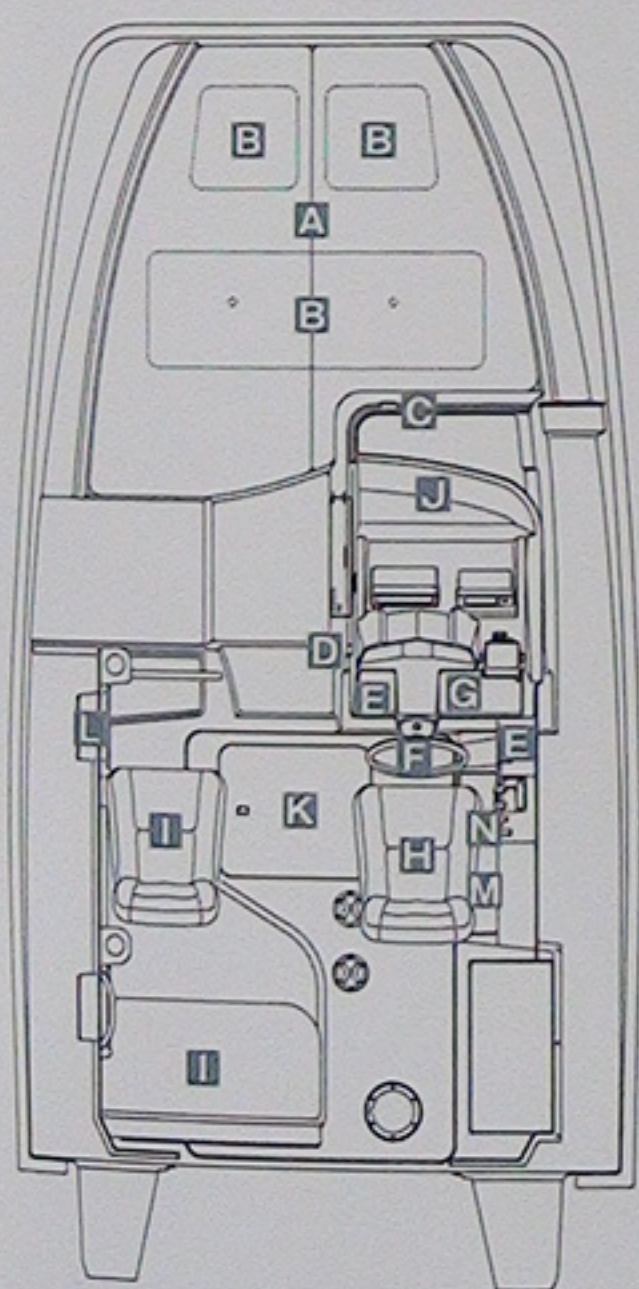
使い勝手を追求した、明るく快適な居住空間。

良好な視界をもたらすワイドなフロントウィンドウ、明るく開放感あふれるキャabinは、仲間との釣行を快適に過ごすための数々の装備と必要十分な機能をあわせ持っている。



操縦性・視認性に優れたコックピットを配した広々としたキャbinには、ダンパー式のドライバーズシート、座り心地の良いナビシートと2名が前を向いて座れるパッセンジャーシートをレイアウト。さらに、長時間の釣行を快適なものとするためエアコンもオプションで用意しました。また、独立式トイレルームを装備するなど、上質さと使いやすさを両立しています。





A パウバース・パウクッション (OP)

大人が横になれる広いパウバースにパウクッション (OP) を装備することで、長時間釣行の疲れを癒す、休息や仮眠のための快適なスペースを作ることができます。

B バース下収納

バース下に収納スペースを設けています。

C パウバースライト

早朝や夕暮れ時にタックルの準備や片付けの手助けとなるルームライト。ライトはキャビンにも装備しています。

D エアコン (BE-COOL) (工場OP)

充電式マリンエアコンシステムをオプションで用意しました。夏や冬でも快適なキャビンライフを楽しめます。またエアコンとのセットで100Vコンセントも装備し、利便性を向上しました。

E エアコン吹き出し口

スラスタースイッチ (工場OP)

エアコン吹き出し口を効率的に配置。また、狭水域で便利なバウスラスタースイッチを工場オプションで用意しました。

F コックピット

黒で統一されたコックピットは、各種メーターを見やすい位置にレイアウト。また、GPS魚探・レーダーなどの航海計器の設置スペースも用意しました。

G e-key

キーレスエントリーでスマートなエンジン始動を可能にするカードキーシステムです。

H ドライバースシート (ダンパー仕様)

スライド機構付きで、最適なドライビングポジションをとることができ、長時間の操船でも疲れにくいダンパー式のドライバースシートを採用。シートを90度回転させれば、気軽にゲストとの会話を楽しむこともできます。

I ナビシート・パッセンジャーシート

J 個室トイレルーム

電動マリントイレを標準装備。強制換気装置やルームライトもセットされており、女性の乗船にも優しい独立タイプのトイレルームです。

K エンジンルームハッチ

キャビン中央にエンジンルームハッチを設置しました。エンジンルーム前方からのエンジンのメンテナンスに有効です。ハッチには十分な防音材を施し、エンジン音をキャビンに響かせない仕様となっています。

L サイドストレージ・ドリンクホルダー

M ブレーカーパネル

N 火災警報装置・浸水警報装置 (工場OP)

エンジンルームの浸水を検知し、警報を発令する装置を工場オプションで用意しました。

写真にはオプションおよび撮影のための小道具が含まれています。